

SSH講演会「プレゼンテーションと著作権」

①ねらい 自分の知っている知識や情報収集によって得た情報を、適切に整理して、わかりやすく正確に伝えるための手法について学ぶとともに、他人が作成した著作物の引用方法について理解する。

②実施概要 10月8日（木）1年生200名に対して栃木県総合教育センター研究調査部岩本善行先生にご講演頂きました。はじめに、△□○の形をした図形が棒に刺さったおでんのような図を、言葉で伝える実習を行いました。意外にも言葉だけで伝えることの難しさを体験し、視覚的な情報も組み合わせることで、相手により正確に情報を伝達できることを実感しました。また、「SS情報」の授業で扱っているプレゼンテーションの作成のための手法や他人の著作物の引用方法等についてご講演いただきました。



プレゼンテーションの組み立て方について、実際にスクリーン上に、「伝わりやすいスライド」と「伝わりにくいスライド」を表示し比較することにより、簡潔な語句でまとめることの重要性、背景、文字色、文字のポイント、アニメーション等の機能の効果的な活用方法について解説して頂きました。また、ついつい多用したくなるアニメーションも使いすぎるとかえって逆効果であるということも理解しました。

著作権については、学校や家庭などの身近な所でありそうな著作権に関する〇×クイズを解きました。いずれも普段行う可能性のある行為ですが、著作権法に違反する行為なのか全く考えずに行っている可能性があるのです。最後に正解とその根拠を説明していただいたときには、予想と異なり意外な表情を見せる生徒もいました。現在、コンピューターやスマートフォンなどの普及により、SNSやファイル交換ソフト等を使って写真や動画等様々なデータを気軽にやりとりすることが可能となっていますが、簡単にできる反面、著作権を侵害するような事例が高校生でも簡単に起こりえます。普段あまり考えたことの無い著作権について考える、良いきっかけになりました。

③生徒の感想

- ・著作権に対する法律が年々厳しくなっていることを知り、考え方が変わった。
- ・プレゼンをするときには今日教わったことを活用して、いいプレゼンができるようにしたい。
- ・要点のまとめ方やどのようにしたら相手に伝わりやすいのか、プレゼンの知識を学べた。
- ・自分のプレゼンテーションを工夫した方が良かった。著作権の知識が深まった。
- ・質問したことがあったが、質問する勇気がなかったことが心残りです。次回は質問したい。
- ・とてもためになる内容だった。ただプレゼンするだけではだめなことが分かった。

④成果と課題

今回の講演を通して、生徒は効果的なプレゼンテーションの方法と身近な著作権の例について学ぶことができ、実りの多い講演会となった。今後は実践を重ね、研究発表に生かしていくことが必要である。

地学研修

①ねらい 郷土の地史について学ぶとともに、観察、実験を通して地球科学全般に対する興味・関心を高める。

②実施概要 10月24日(土)と11月1日(日)の2日間、1年生希望者30名を対象に栃木県立博物館の柏村勇二先生(足高OB)ご指導の下、地学研修を行いました。

第一日目はバスに乗り、栃木県那須塩原市へ野外実習に出かけました。はじめに、中塩原地域の要害公園付近の路頭を観察しました。ここは塩原湖成層と呼ばれる第四期(約30万年前)の湖に堆積した地層で、木の葉や昆虫、魚などの化石が含まれています。



また、地層中には細かい白色層が何本も含まれており、これは珪藻化石が季節毎に堆積した物で地層の堆積した年月を知ることができます。今回はこの露頭で地層のはぎ取りを行いました。地層のはぎ取りとは、地層に布を当て溶剤を塗りつけ固め、はがし取る作業です。この作業により実物の地層を持ち帰ることができました。要害公園後は付近にある木の葉化石園を見学し、実際に岩石を割って化石を採集しました。木の葉化石園の地層は要害公園とほぼ同時代ですが、ちょうど川の流れ込む地点にあったため多量に化石が産出します。昼食後、再度バスで移動し、下戸倉沢～大黒岩付近付近にて化石を採集しました。こちらは約1200万年前の地層で貝の化石が多く含まれています。同じ時代でも、露頭によって化石が整っているところやバラバラになっている所があり、堆積環境の違いも確認することができました。

第二日目は校内にて、栃木県の地質や古生物学の基礎について講話をいただくとともに、一日目に採集した化石のクリーニング及び同定を行いました。塩原地域は世界的にも有名な化石の模式地で、海外からも多数の研究者がやってくると聞きました。クリーニングは、ハンマーやタガネ、細長い金属等、様々な道具を用いて化石を丁寧に整えました。同定は専門の図鑑を用いて行うとともに、柏村先生からご助言を頂きました。

③生徒の感想

- ・地層のはぎ取りは初めてで貴重な経験となった。
- ・栃木県にもかつては海があったことに驚いた。
- ・化石のクリーニングは大変だったが、きれいになった時はうれしかった。
- ・日本が昔はユーラシア大陸の一部であったことを知り、驚いた。



④成果と課題

露頭観察や化石クリーニングを通して興味・関心や基本的な知識が高まったことが生徒アンケートから読み取れる。しかしながら、地学の授業を履修していないため、講義の場面ではついていけない場面も若干見られた。今後は事前学習等も検討していきたい。